

尾張西支部

6地区一斉パトロール 不法投棄の防止を住民へ 強くアピール

6月9日(木)尾張西支部(新家義彦支部長)の不法投棄防止パトロールが支部長、役員、会員ら31名が参加のもと行われました。支部内を6地区(津島市・愛西市・蟹江町地区/海部地区/弥富市・飛鳥地区/清須市・北名古屋市地区/一宮市地区/稲沢市地区)に分かれて、早朝から午前中にかけて実施されました。パトロールの結果は、地区ごとに写真、地図を添付して支部長に報告されました。

当取材は鬼頭 弘委員ら3名に同行し、稲沢市地区を車でパトロールしました。

西尾張中央道沿いの福島交差点近くの敷地に、コンクリートの基礎、解体ごみ、家庭ごみが200㎡ほど不適正保管され、風が吹くとごみが飛散する危険な状況でした。沢西付近の田んぼに囲まれた細長い敷地では、テレビ、浴槽、自転車など、100㎡



道路に接した敷地に解体ごみが不適正保管



田んぼに囲まれた細長い敷地にテレビ、自転車などが不適正保管



造園敷地内で生木などが野焼き



草むらの中に家電やタイヤなど家庭ごみが不法投棄



田んぼに接した敷地に土砂など解体廃棄物が不適正保管



ほどが不適正保管されていました。

また、パトロール中に今村町付近の造園農家の敷地内で、煙が上がっていたため現場を確認したところ、生木10㎡ほどが野焼きされていました。

この他、津島市下切町字中割界隈の草むらの中に、家電やタイヤ及び家庭ごみの不法投棄がありました。この場所は昨年も報告があり、今年は不法投棄量が若干増えていたとの事でした。

海部郡飛鳥村新政成付近に、廃プラスチック類、木くず、家電、OA機器、一般廃棄物等の混合廃棄物が約5㎡ほど不法投棄されていました。この現場は飛鳥村保健福祉課から指摘があった場所です。

また、岩倉市川井町付近で田んぼに面した敷地に、土砂、木くず、廃プラスチック類など建物の解体物と思われる廃棄物が、約500㎡ほど不適正保管されていました。また廃棄物の上にはウンボが乗り捨ててあり、異様な状況だったとの報告でした。

今回のパトロールでは、不法投棄7件、不適正保管2件、野焼き1件の報告がありました。